

第4回

[日 時] 令和2年10月24日（土）18:30～20:30

[場 所] 東松島市矢本西市民センター

[テーマ] 世界に誇れる石巻地域にしよう～発信！未来へ～

[使用したテキスト] 『耕人』第9-4号.pdf（塾長から塾生へのメッセージ）

[当日の流れ] ①塾長挨拶 ②講話 ③今後の活動計画検討 ④講評

[活動内容]

●塾長挨拶（木村塾長）

活動に先立ち、木村塾長より「実践することの大切さ」について話がありました。塾長自身が実践において大切にしているのは「ほう（報告）・れん（連絡）・そう（相談）・にん（確認）・じん（迅速）」であり、できるだけ早く動き、失敗したら反省するということを心がけているとのことでした。そのような心がけで実践することが、自分自身を謙虚に見つめ、磨くことにつながるのだと塾生に伝えられました。



●講話「耕人塾の皆さんへ」

（講師：（株）高政 代表取締役社長 高橋正樹さん）

今回は、かまぼこで知られる高政の代表取締役社長である高橋正樹さんを講師にお迎えし、女川で地域貢献に奮闘するご自身の経験をお話いただきました。

高橋さんは、東日本大震災を経て、企業は地域とともにあり地域に生かされているという思いをもちながら、復興に向けイベント開催や女川町内各所への協賛・支援などを数多く実践されています。その経験に基づいたお話は、地域貢献や社会貢献という視点で自分のできることを模索している塾生にとっては、指針となるような大変貴重なお話でした。

最後に、塾生へ向けて「強みを持とう」「強さを持とう」「誰かのために生きてみよう」と激励のメッセージが送られました。人のため地域のためと、並々ならぬ情熱のこもったお話は、強いメッセージとして塾生の心にも響いたようでした。講話の後も熱冷めやらず、講師を囲みながら会話を交わす塾生の姿が見られました。



●個人課題追究活動

班ごとに分かれて、個人で設定している課題の実施状況を確認し、情報を共有しました。また、第6回での発表に向けて、今後の予定やまとめ方の確認等も行いました。模造紙を広げて準備にとりかかる班もあり、それぞれの構想をどのように具現化し表現していくか、塾生同士で意見交流を図ったり、教学委員からアドバイスを受けたりしながら活動を進めました。



●講評（横江運営委員長）

最後に横江運営委員長より講評がありました。恩を受けたから返すのではなく、他の誰かに送るとい
う「恩送り」という言葉があります。1つ1つ実践することが誰かのためになり、ひいては自分のためになるので頑張ってほしいと塾生に向けて激励しました。



- ホーム ▼
- 耕人塾の活動 ▼
 - 令和2年度の活動 ▼
 - 第6回 閉塾式
 - 第5回
 - 実践活動（ゴミ拾い）
 - 第4回
 - 「笑顔はぐくむ復興の森植樹会」への参加
 - 第3回
 - 第2回
 - 第1回 開塾式
 - 令和元年度の活動 >
 - 平成30年度の活動 >
 - 平成29年度の活動 >
 - 平成28年度の活動 >
 - 平成27年度の活動 >
 - 平成26年度の活動 >
 - 平成25年度の活動 >
 - 平成24年度の活動
- 報道・受賞